

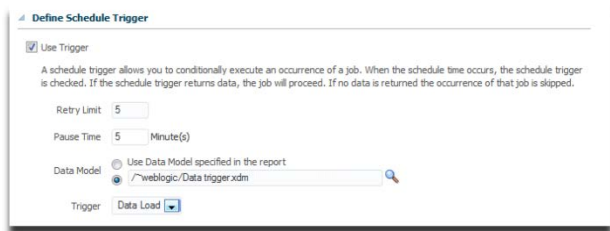
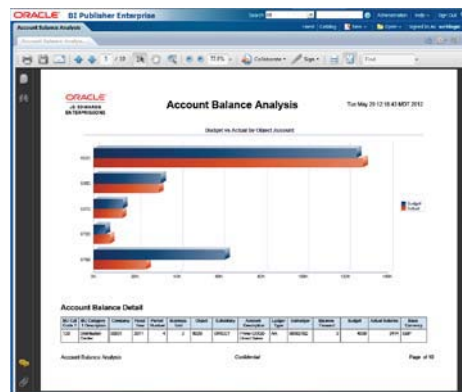
New : Oracle BI Publisher 11g Release 11.1.1.7 が新登場

数々の優れた新機能を搭載

エンドユーザー向け機能

シートベルトをお勧めします

前回のリリースで、インタラクティブ出力を実現する新しいエンジンを導入したため、すべての出力タイプを高速レーンに移行することが唯一の適切な方法であるように思われました。今回のリリースでは、BI Publisherのレイアウト・テンプレート（.xptタイプ）からのすべての出力に対して、パフォーマンスの飛躍的な向上が期待できます。PDF、HTML、RTF、およびその他の形式で50%から最大20倍の高速化が実現されます。



1回目にジョブが失敗しても・・・

トリガーの結果に基づいて条件付きで実行されるジョブがあるとしたら、そのトリガーが失敗した場合に、1回だけで処理を停止するのではなく、条件に合うまで試行するスケジューラがあれば便利でしょう。そこで、Release 11.1.1.7では、再試行の上限回数と一時停止間隔を設定することで、ユーザーは何もしなくても、ジョブが実行されるまで自動的にトリガーを再実行できるようになりました。

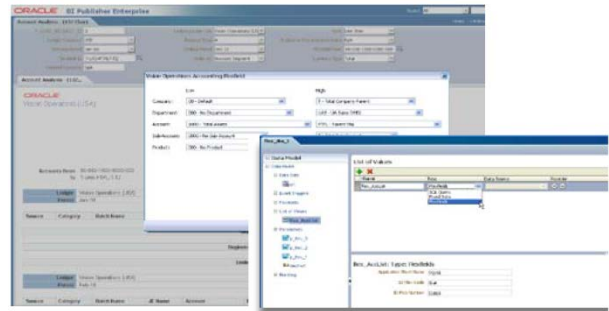
持ち歩き可能なダッシュボード

ブラウザでの表示に優れているBI EEダッシュボードでも、ときには印刷する必要があります。レイアウト・エディタとの新しい統合を通じて、ダッシュボードを忠実度の高いPDFとして生成できます。BI Publisherにダッシュボードをインポートすると、印刷可能なレイアウトに自動変換できます。ダッシュボードに複数の印刷可能なレイアウトを付け足すこともできます。ダッシュボードを表示する際に印刷オプションを使用するだけで、ダッシュボードに表示されたものを持ち歩くことができます。

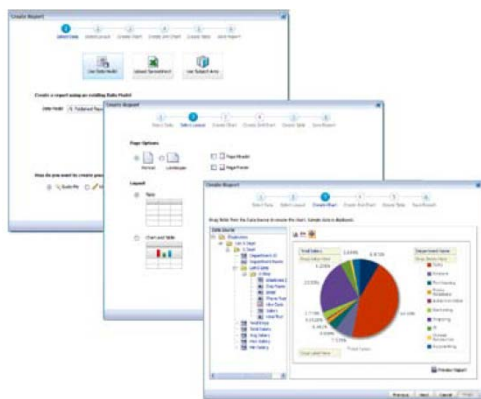


Flexfieldサポートの拡張

Oracle E-Business Suiteの使用中、すべてのセグメント値をFlexfieldへ入力することに嫌気がさしたことはありませんか。Flexfield/パラメータのサポートが拡張され、BI Publisherは、使い慣れたLOVセットにセグメント値をフェッチするようになりました。Release 11.1.1.7では、わずか数回のクリックでFlexfieldのセグメント値を入力できます。



レポート作成者向け



操作は容易なままで高度なレポートを

ガイド付きのレポート作成ワークフローによってシンプルなレポートの作成が容易になりましたが、これは序の口にすぎません。使いやすいウィザード内で共通のレイアウト・オプションを選択し、表とグラフを追加し、さらにページ・プロパティを定義できます。ビジネス・ユーザーや一般ユーザーでも数回のクリックでレポートを完成できます。上級ユーザーは引き続き、レイアウト・エディタを使用できます。

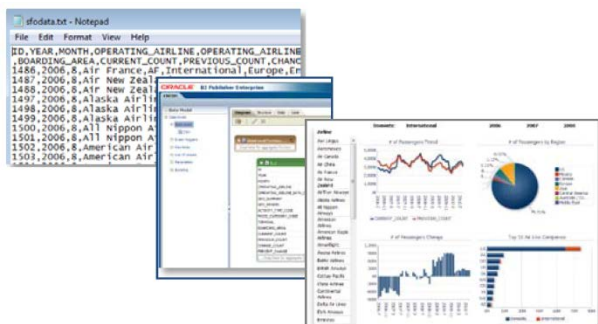
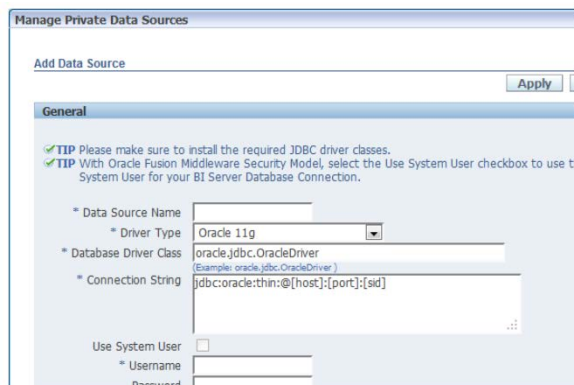
BIサブジェクト領域に対する直接レポート

データ・モデルがなくても問題ありません。BI Serverのサブジェクト領域内にすでにデータがモデル化されています。このリリースでは、BI Publisherのレイアウトからサブジェクト領域のデータに対して直接レポートを実行でき、設計時と実行時のシームレスな体験が実現されます。レポート・ウィザードでサブジェクト領域を選択し、レイアウト設計を開始するだけで処理は完了です。



独自のデータソースの追加

ローカル・データベースのデータだけを視覚化したい場合もあれば、一元管理されているデータソースのデータと組み合わせたい場合もあるでしょう。ローカルJDBCとOLAP接続のサポートを利用すると、ユーザーは、管理者が接続をセットアップしなくても、BI PublisherをプライベートのJDBCデータソースに接続できます。管理者はすべてのローカル・データソースを確認することができ、その中から他のユーザーに推奨するデータソースを選択できます。

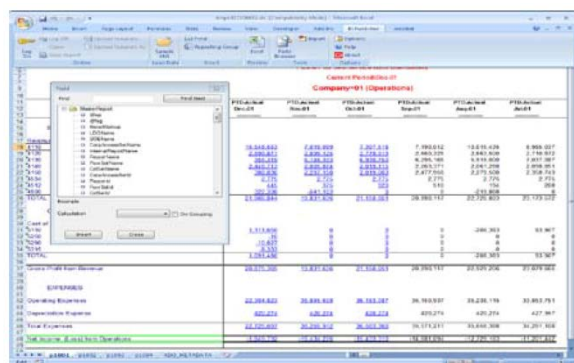


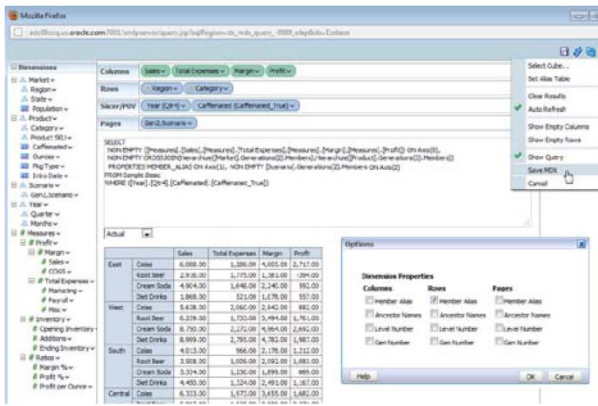
CSVデータの利用

別のソースから生成したCSVファイルを企業レポートに含めるにはどうすれば良いでしょうか。Oracle BI Publisher 11g Release 11.1.1.7では、CSVファイルをデータソースとしてサポートします。しかも、それだけではありません。ユーザーはローカル・ディレクトリからCSVファイルを直接アップロードできます。中央サーバーにファイルを配置してもらうために管理者に依頼する必要はありません。PC上に眠っているCSVファイルの潜在能力を今すぐ引き出しましょう。

Excelテンプレートの簡易化

Excel Template Builderが拡張され、フィールド挿入とレポート・グループの作成が自動化されました。フィールド・ブラウザを使用すると、挿入したすべてのコマンドを表示して編集できます。BI Publisherカタログに直接接続してデータをダウンロードし、Excelセッションから新しいレポートを作成できます。また、実際のデータを使用して、Excelからレポートをプレビューできます。



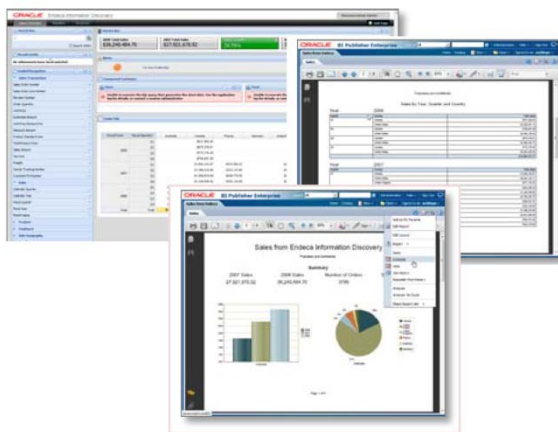


MDXクエリー・ビルダー

BI Publisherでは、以前から、マルチディメンション式 (MDX) 問合せを使用したOracle Essbaseへの直接アクセスをサポートしています。Release 11.1.1.7で導入されたグラフィカル・クエリー・ビルダーを利用すると、列をドラッグ・アンド・ドロップするだけで自動的にMDX問合せを生成できます。上級ユーザー向けに、生成された問合せを編集して高度な関数を問合せに追加することもできます。

小切手印刷の改善

小切手はドキュメント生成の花形です。小切手には特別なフォントやインク、トレイ、プリンタを使用する必要があります。これらの要求に対応するため、このリリースのBI PublisherはPDFからPCLへの変換機能を備えています。ユーザーは、使用するプリンタ向けのPCLコマンドをRTFテンプレートに埋め込むことができます。実行時に、プリンタはファイルに埋め込まれたコマンドに従ってトレイを切り替え、署名ファイルをロードし、インクを変え、その他の小切手印刷要件に対応します。



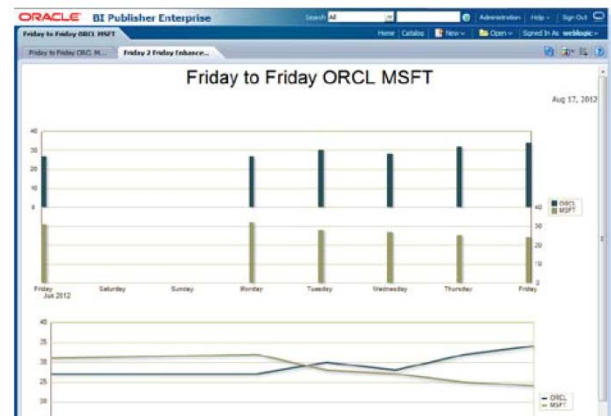
Endecaサーバーからピクセル・パーフェクトなレポートを

Oracle Endecaサーバー上のデータを企業レポートに利用することで、Endecaへの投資がもたらす可能性が広がります。BI PublisherからEndecaサーバーに対してEQL問合せを実行し、その他のソースのデータと組み合わせることができます。

顧客からのリクエスト：グラフのカスタマイズ

レイアウト・エディタでの特定のグラフのカスタマイズがいくつか要求されていました。このリリースに実装されたものは次のとおりです。

- 時間軸の書式設定オプション - グラフに日付が含まれる場合、年、月、週、日の表示方法を選択できます。
- 動的な書式設定マスク - データ要素またはパラメータを介して、実行時に書式設定マスクを動的に適用できます。
- 軸機能の非表示 - 軸ラベルが妨げとなる場合、これを非表示にできます。
- 円グラフの要素ラベルの書式設定 - 円グラフの要素ラベルとして、ラベル、値、割合のいずれを表示するかを選択できます。



開発者向け機能

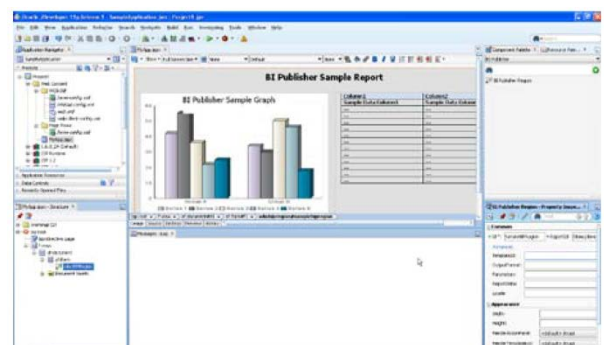
DEPARTMENT_ID	DEPARTMENT_NAME	EMPLOYEE_ID	FIRST_NAME	LAST_NAME	HIRE_DATE	SALARY
90	Executive	100	Steven	Ging	6/17/87	\$24,000.00
90	Executive	101	Neena	Kochhar	9/21/89	\$17,000.00
90	Executive	102	Lex	DeHaan	1/19/92	\$17,000.00
60	IT	103	Alexander	Hunold	1/20/90	\$9,000.00
60	IT	104	Bruce	Smith	9/21/91	\$9,000.00

レイアウト・エディタへのカスタム・プラグインの追加

レポートにYouTubeビデオやGoogleマップの埋込みを必要としていませんか。また、カスタム・コンテンツの統合を必要としていませんか。Oracle BI Publisher 11g Release 11.1.1.7では、レイアウト・エディタへのJavaScriptプラグイン拡張の追加をサポートしており、インタラクティブ・レポートにカスタム・コンポーネントを追加できます。プラグインはツールバー上に表示されており、簡単にレイアウトに挿入できます。さらに、カスタム・プロパティも定義できます。カスタム・コンテンツはインタラクティブ出力で表示できます。

ADFアプリケーションへのレポートの追加

ユーザーがアプリケーションからレポートを実行して表示できるように機能が必要としていませんか。今回リリースしたBI Publisherは、ADFページにレポートを組み込むためのJDeveloperプラグインを提供しています。この統合は、BI Publisherカタログでデータ・モデルを実行し、レポート・エンジンにデータを送信し、アプリケーション・ページにレポートを返すまでをサポートします。



Oracle BI Publisherのより詳しい情報は、



@bipublisherをフォローして、最新ニュースや特ダネ情報を収集してください。ツイッターによるフィードバックもお待ちしております。



Oracle BI Publisherのエキスパートが見つかります。



How-toやソリューションに関する記事が500件以上あります。



オラクルのチャンネルを登録して、概要やHow-toに関する動画をご覧ください。



ご質問はディスカッション・フォーラムに投稿してください。